

令和元年度
竹原市都市再生協議会議事録
(概要版)

日時：令和元年7月8日（月）
14：00～15：45
場所：竹原市役所3階 委員会室

竹原市建設部都市整備課

○ 次 第

1 開 会

2 会長の選任, 副会長の選任

3 議事録等の公表について

4 議 題

(1) 竹原市都市再生協議会の目的について

(2) 竹原市立地適正化計画について

(3) 平成30年7月豪雨災害と居住誘導区域について

(4) 平成30年度の住宅開発等の動向について

(5) コンパクトなまちづくりに係る具体的な誘導施策の取組状況について

5 閉 会

○ 出席者 (10名)

大森 豊裕 委員

山岡 俊一 委員

今市 恵誉 委員

齋藤 良明 委員

岡田 文夫 委員

日野 誠 委員

竹田 勝也 委員

荒川 幸子 委員

橋本 清勇 委員

田中 亮 アドバイザー

○ 欠席者 (2名)

平原 秀則 委員

日高 雅彦 アドバイザー

○ 事務局

田所 副市長

平田 総務企画部長兼公営企業部長

桶本 地域振興部長

宮地 市民生活部長

久重 福祉部長

堀川 教育振興課長

有本 建設部長

影田 建設部参事

《事務局庶務 都市整備課》

西吉 課長

伊藤 係長

山道 主任技師

清水 技師

1 開会

○開会挨拶（事務局）

- ・ただ今より、令和元年度 竹原市都市再生協議会を開催いたします。本日は、委員の2分の1以上の出席となっておりますので、会議成立となります。また、本協議会は、立地適正化計画策定後の進捗状況等の報告を行うため、年1回開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○挨拶（事務局）

- ・委員の皆様におかれましては、本協議会へご出席いただき、誠にありがとうございます。本市においては、コンパクトなまちを形成するための具体的な取組を推進する計画として、平成30年3月に竹原市立地適正化計画を策定し、公表しております。昨年7月の集中豪雨では、市内各所で土砂災害、浸水災害が発生し、現在、全力で復旧・復興に取り組んでいるところです。こうした取組を含め、立地適正化計画の各種取組により、都市機能や居住を誘導し、コンパクトな市街地形成を図ることが、住民の皆様の安心・安全を守っていくことにつながると考えております。本日は、昨年度の豪雨災害と居住誘導区域との関係性や立地適正化計画における各種取組状況等について報告させていただきますので、委員の皆様には建設的なご意見をいただければと思います。

○配布資料確認、委員紹介（事務局）

2 会長の選任、副会長の選任

○事務局

- ・竹原市都市再生協議会設置要綱第5条の規定では、会長及び副会長は委員の互選により選出することとなっております。事務局から事前に委員の皆様にお伺いさせていただきました。会長は、都市計画の分野がご専門で、これまで本協議会の会長を務めてこられた、大森委員にお願いしたいと考えていますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○事務局

- ・委員の皆様のご了解が得られましたので、会長に大森委員を選任します。副会長の選任につきましては、会長から推薦をお願いいたします。

○会長

- ・副会長は、学識経験者の山岡委員を推薦します。

○事務局

- ・山岡委員を推薦するご発言がありました、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局

- ・委員の皆様のご了解が得られましたので、副会長に山岡委員を選任します。早速ですが、大森会長からご挨拶をいただき、議事の進行をお願いいたします。

○会長

- ・竹原市立地適正化計画を策定して以降、昨年は竹原市でも大きな災害が発生し、市民の安全・安心に関わる都市計画が非常に重要と考えております。本日は、昨年度の災害の状況や立地適正化計画における具体的な取組等について事務局より報告がありますが、委員の皆様のご専門的な知識をもとに、十分な議論ができるよう進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3 議事録等の公表について

○事務局

- ・立地適正化計画の取組については、住民や事業者の皆様にご周知することにより、都市機能や居住の緩やかな誘導などの進展が見込めるものと考え、議論の内容を要約した議事録、審議状況写真、配布資料を市のホームページで公表したいと考えております。また、議事録の内容は会長に一任いただきたいと思います。

(「異議なし」の声あり)

○会長

- ・本協議会の議事録等は、市のホームページで公表することとします。

4 議題

○会長

- ・議題（1）竹原市都市再生協議会の目的について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・竹原市都市再生協議会の目的について、資料1で説明いたします。

【資料1 事務局説明】

○会長

- ・ただいまの事務局の説明について、ご意見をお願いします。

(意見なし)

○会長

- ・議題(2) 竹原市立地適正化計画について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・竹原市立地適正化計画の概要について、資料2で説明いたします。

【資料2 事務局説明】

○会長

- ・ただいまの事務局の説明について、ご意見をお願いします。

(意見なし)

○会長

- ・議題(3) 平成30年7月豪雨災害と居住誘導区域について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・平成30年7月豪雨災害と居住誘導区域について、資料3で説明いたします。

【資料3 事務局説明】

○会長

- ・ただいまの事務局の説明について、ご意見をお願いします。

○委員

- ・居住誘導区域内の浸水被害について、発生した主な原因を教えてください。

○事務局

- ・大王地区については、今回の大雨で近接する二級河川本川の水位が上昇し、設置しているポンプの排水機能が間に合わなかったこと、また、上流側の河川が氾濫し、本地区に流れ込んできたことから、通常の大雨時よりひどい浸水被害が発生いたしました。塩町地区、西町地区については、元々の土地が低いため、こちらもポンプを設置しておりますが、今回の大雨ではポンプ機能が間に合わず、浸水被害が発生いたしました。

○委員

- ・浸水被害について、今後、何らかの対策を行うのか。また、居住誘導区域内だから安心と思われないよう、地域住民への情報提供や啓発などを行った方がよいと思う。

○事務局

- ・市では、公共下水道事業として雨水管整備等などの雨水対策を行っております。本雨水対策と大雨時の仮設ポンプの設置など出来る対策は行っていきたいと考えております。

○事務局

- ・今年の豪雨災害を踏まえ、現在、市でハザードマップの更新を行っており、浸水、土砂災害、高潮などの総合的な防災ハザードマップを年内には策定し、市民の皆様に公表する予定としております。

○委員

- ・土砂災害危険箇所図について、少し古い図となっていないか。資料を公表するのであれば、最新の情報とした方がよいと思う。

○事務局

- ・資料の図は、立地適正化計画策定時のものを使用しており、この時点では忠海地区の土砂災害基礎調査が完了していなかったため図に反映されておりません。公表する資料については、図の修正等を行います。

(その他、意見なし)

○会長

- ・議題（４）平成 30 年度の住宅開発等の動向について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・平成 30 年度の住宅開発等の動向について、資料 4 で説明いたします。

【資料 4 事務局説明】

○会長

- ・ただいまの事務局の説明について、ご意見ををお願いします。

○委員

- ・住宅開発については、ほぼ居住誘導区域内であり、立地適正化計画の目的にあった建築が行われていると考えるが、今後、計画の評価を行う際に、住宅開発の動向のほか、どういう項目を評価指標とするのか。

○事務局

- ・立地適正化計画は、おおむね5年毎に見直しを行うこととしており、人口密度の維持を目標の1つとしていることから、各地域の人口密度の整理を行うこととしております。また、都市機能誘導施設については、計画策定時の施設数と5年後の施設数の変化について、その他、地価や観光客の推移なども整理を行うこととしております。

(その他、意見なし)

○会長

- ・議題(5)コンパクトなまちづくりに係る具体的な誘導施策の取組状況について事務局より説明をお願いします。

○事務局

- ・コンパクトなまちづくりに係る具体的な誘導施策の取組状況について、資料5で説明いたします。

【資料5 事務局説明】

○会長

- ・ただいまの事務局の説明について、ご意見ををお願いします。

○委員

- ・9ページの歴史的建造物活用検討について、平成30年度に参加した2回の意見交換会の内容と参加した民間企業を教えてください。

○事務局

- ・9月の意見交換会では、森川邸の事業アイデアとして、市重要文化財のどの部分まで改修できるかを明確にすることが重要であること、森川邸と他物件をセットで募集すると民間も参入しやすいなどのご意見をいただきました。3月の意見交換会では、広島市の業者が多かったことから、広島市からのアクセスの良さが重要とのご意見をいただきました。なお、参加された企業は、企画設計会社やプランニング会社となっております。

○委員

- ・広島市の企業や全国的な企業との意見交換となっているが、竹原市の企業との意見交換は行わなかったのか。

○事務局

- ・今回は、国土交通省が主催の官民連携の意見交換会に各自治体が参加したものであり、このため、参加企業が全国的な企業となっております。

○委員

- ・歴史的建造物の活用について、建築士会にヘリテージマネージャーという歴史的建造物保存活用資格者がいるため、活用検討にあたっては建築士会にも声掛けを行って欲しい。

○委員

- ・17 ページの地域交流センターへの移行について、新たにできることの内容、利用制限の緩和や情報発信について具体的に教えていただきたい。

○事務局

- ・今までの公民館機能である社会教育機能に加え、新たに地域の会合などに利用できるようになりました。利用制限の緩和の例としては、社会教育に関すること以外の地域活動、飲食に伴う会合となっております。また、情報発信については今後の取組となりますが、地域の活動拠点となるような取組を行っていきたいと考えております。

○委員

- ・情報発信については、紙媒体では対応できないことも多いため、IT媒体を利用するなどして、できるだけ地域の情報発信の支援を行ってほしい。

○委員

- ・12 ページの公的不動産の活用について、現在、休園中の東幼稚園を地域の3団体が利用し、お年寄りのサロンや自治会の活動などを行っている。地域の重要な拠点であり、急に利用できなくなるのは困るため、今後どのようにするか教えていただきたい。

○事務局

- ・東幼稚園については、認定こども園の開園に伴い廃園となり、今後は全庁的に利活用の検討を行うこととなります。急に利用の中止を行うことはありませんが、本建物は老朽化していることから、その辺りも踏まえた検討が必要と考えております。

○委員

- ・7ページの公共交通施策の推進について、高速バスの最終の時間が早くなり、広島市内とのアクセスが不便となった。公共交通網形成計画の目標に掲げている、日常づかいや観光・にぎわいにつながっていないと思う。

○委員

- ・芸予バスでは、3月のJR列車改正に伴い、高速バスの減便やサービス時間帯の縮小を行いました。高速バスは、高速道路を運転することから、基本的に若い乗務員に乗務させていますが、乗務員不足や高齢化により運行が厳しい状況となっております。運転手確保のため、市でU・Iターンの若者などへの仕事紹介を行っていただければと思う。

○委員

- ・高速バスの始発や最終の時間を考えると、竹原市内で会議を開催するのが難しく、また、定住も厳しいと考える。まちの賑わいや活性化のためにも、行政として、ドライバー確保のための補助金を出すなどの具体的な取組を検討されたら良いと思う。

○事務局

- ・市民の皆様の移動手段をいかに確保するかは、市の重要な課題であり、市の責任で計画の策定と具体的な取組を行う必要があると考えております。公共交通網形成計画については、今年度に策定・公表予定であり、7月頃から民間事業者と具体的な取組について検討を行い、基本方針に資する事業を計画に反映させたいと考えております。また、運転手不足などの民間事業者が抱える課題についても意見交換を行い、課題解決に向けて市ができることを検討していきたいと考えております。

○委員

- ・国土交通省より、携帯アプリの地図に時刻表情報や遅延情報、公共交通の乗換情報を載せるサービス展開について話があった。また、庄原市が秋からMaas（マース）という取組を先行して行うと聞いている。公共交通網形成計画の会議でも定義させていただくので、導入できるか導入できないかも含めて検討できればと思う。

(その他, 意見なし)

○会長

- ・民間事業者の取組として「株式会社いいね竹原」の取組について、説明をお願いします。

○委員

- ・株式会社いいね竹原では、まちなみ保存地区内にある空き家3棟を改修し、フロント・レストラン棟1棟、宿泊棟2棟の整備に着手しました。本事業は、丹波篠山市の町全体をホテルとした分散型ホテル事業を参考としており、竹原市の活性化をつながればと考えております。本日は、本事業についてご紹介させていただきます。

【参考資料1 説明】

○会長

- ・ただいまの説明について、ご意見をお願いします。

(意見なし)

○会長

- ・広島県の取組について、アドバイザーから説明をお願いします。

○アドバイザー

- ・本日は最近の立地適正化計画に関わる情報として、都市居住の安全確保について説明させていただきます。

【参考資料2 説明】

○会長

- ・ただいまの説明について、ご意見をお願いします。

(意見なし)

○会長

- ・本日の議事については以上です。進行を事務局にお返しします。

5 閉会

○事務局

- ・本日は、委員の皆様より様々なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。ご意見につきましては、立地適正化計画及び公共交通網形成計画に反映していきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。都市再生協議会の次回の開催は令和2年度を予定しており、改めて事務局よりご連絡させていただきます。以上をもちまして、令和元年度 竹原市都市再生協議会を閉会いたします。